

南丹教育局NEWS



●令和6年度南丹美術工芸パートナーズクール事業●

南丹教育局では、小学生が高校生の指導を受けて作品を制作することを通して、美術工芸への興味・関心を高める「南丹美術工芸パートナーズクール事業」を実施しています。

小学生は身近な先輩から直接学ぶことで自分の将来に対する希望や関心を持ち、また、高校生は小学生への指導を通して日々の学習に対する自信や誇りを持つなど、校種を越えた連携を通して、「つながる学び」に取り組んでいます。

亀岡市立蒔田野小学校 & 亀岡高等学校



亀岡市立蒔田野小学校2年生13名、3年生12名が、6月7日・21日の2日間にわたり、亀岡高校普通科美術・工芸専攻1年生30名から指導を受けて、作品を制作しました。

小学2年生は「ふしぎなたまご」、3年生は「緑化にかかわる絵」をテーマにしました。

高校生は小学2、3年生のグループに分かれ、教室と図工室に入って指導しました。

1回目の交流では、最初に高校生と小学生がそれぞれ自己紹介を行った後、小学2年生はクレヨンでふしぎなたまごの殻デザイン作成、小学3年生はスパッタリング、ふきながし、ローラーポンポン、ドリップングの4つの技法について、高校生からマンツーマン指導を受けました。

小学2年生は、高校生が事前に作成したたまごを鑑賞しました。その後、高校生からアドバイスをもらいながら自分のオリジナルのたまごを目をキラキラさせて考えていました。

小学3年生は、初めて技法について学ぶため、最初は苦戦していましたが、高校生の丁寧なアドバイスもあり、最後には技法を自由に使い画用紙いっぱい描いていました。



2回目の交流では、2年生はたまごの中身作成、3年生は前回の交流で学んだ技法を使った木や葉の着色に取り組みました。

小学2年生は、たまごの中身をどうするか、自分の好きな虫や動物を描くとき何色にしたら見栄えがよくなるのかを高校生に相談していました。色をたくさん使いたい児童に対して、高校生が「この色とこの色を組み合わせたら、きれいな見栄えになるよ！」など積極的に指導している場面も見られました。



小学3年生は、木や葉の着色について、校内の木をタブレットで撮影した画像や窓から見える木や葉をよく観察し、色の出し方を考えていました。筆だけでなく手を使い葉の色を表現したり、濃い茶色と薄い茶色を組み合わせ木のごつごつ感を出そうと試行錯誤していました。

小学生は真剣な表情で集中しながら、時には高校生と和気あいあいとした会話を通じて楽しい時間を過ごしました。高校生は小学生と同じ目線に合わせて細かい部分までアドバイスしたり、先輩として優しく丁寧な指導を行いました。



今回の取組で、小学生は絵を制作する楽しさと技法を学び、高校生は教えることの楽しさと難しさを学び、お互いに貴重な経験を得ることができました。

完成した作品の一部は、「第18回京都丹波美術工芸教育展」(10月26日・27日開催)で会場展示を行います。



南丹教育局では、南丹地域の市町教育委員会や幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の取組を支援するとともに、地域ならではの教育振興に取り組んでいます。

ぜひ、ホームページをご覧ください！！

南丹教育局ホームページ

<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局

